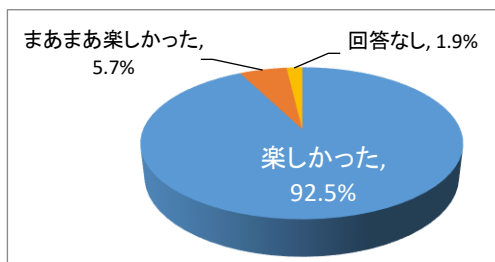


【東海市立加木屋小学校】ポッチャ体験教室アンケート結果(児童用)元.11.21
 [回答者数:106名]

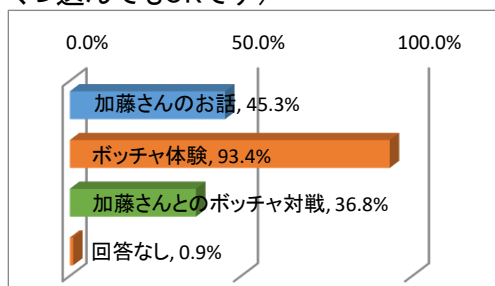
1. ポッチャ体験教室は、楽しかったですか？

楽しかった	98名	92.5%
まあまあ楽しかった	6名	5.7%
楽しくなかった	0名	0.0%
回答なし	2名	1.9%



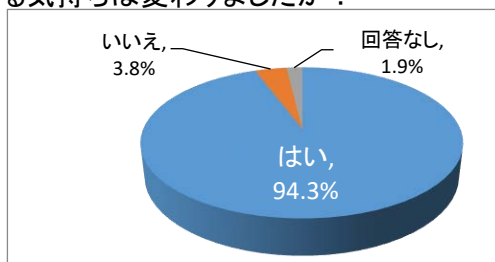
3. ポッチャ体験教室で、楽しかったのはどれですか？(いくつ選んでもOKです)

加藤さんのお話	48名	45.3%
ポッチャ体験	99名	93.4%
加藤さんとのポッチャ対戦	39名	36.8%
回答なし	1名	0.9%



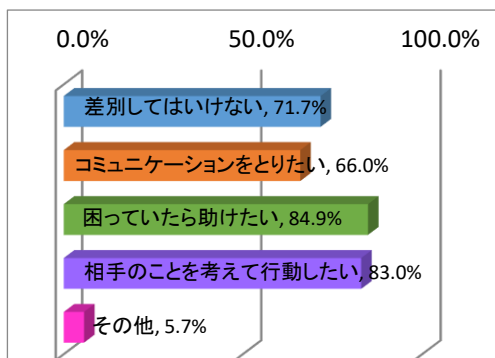
5. ポッチャ体験教室に参加して、障がいのある人に対する気持ちは変わりましたか？

はい	100名	94.3%
いいえ	4名	3.8%
回答なし	2名	1.9%



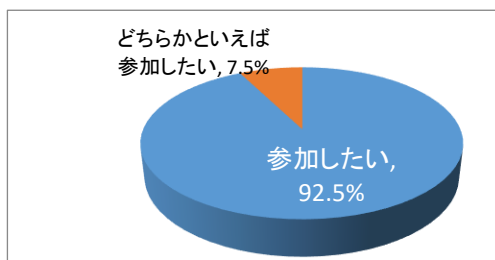
6. 5で「はい」と答えた人に質問します。障がいのある人に対してどのような気持ちを持つようになりましたか？(いくつ選んでもOKです)

障がいのある人を差別してはいけない	76名	71.7%
障がいのある人とコミュニケーションをとりたい	70名	66.0%
障がいのある人が困っていたら助けたい	90名	84.9%
障がいのある人を含めて相手のことを考えて行動したい	88名	83.0%
その他	6名	5.7%



7. また、ポッチャ体験教室に参加したいですか？

参加したい	98名	92.5%
どちらかといえば参加したい	8名	7.5%
参加したくない	0名	0.0%



※以下、回答内容は原文のままです。

(児童用)

2. 1で「楽しなかった」と答えた人に質問します。楽しなかったところは何でしたか？

(※「楽しなかった」と答えた人が0名のため、回答なし)

4. 加藤さんのお話の中で、心に残ったことを教えてください。

- 1%のかのうせいがあるかぎりなんでもちょうせんする。
- かとうさんがまけたときの気持ち。
- しょうがいがある人が来てもどかない人がいること。
- 加藤さんが1パーセントのかくりつを信じるということです。
- 加とうさんは1%を信じてずっとポッチャをやっているということ、ぜったいにあきらめないこと。
- つらさ、かなしさ。
- 加藤さん大学に入学できた話。
- そんなにからないしけんであきらめないでうけたということがすごいとおもいます。
- 1%の可のうせいがあれば、どんな障がいを持っていても何でもできるという話が心に残っています。
- 1%のかのうせいを信じてやる。
- しょうがい者の方がどんな大切な生活をしているかということ。
- ゆめにむかっていけば叶うということです。
- 加藤さんは、どんなことも1%をしんじいることはゆめがあつてかんどうしました。
- 1%のかのうせいでちょうせんする。
- かんとくにかみを切っている所で加藤さんは男まえだとおもいました。
- 加藤さんの頭の中には、くぎが10本ぬけてるといったことが心に残りました。
- 1%のかのうせい。
- 1%のかのうせい。
- 大会のときの前にかみのけをきったりしていたこと。
- 最初は、この人どう言うんだろうと思ったけど、だんだん話がおもしろくなりました。
- せんたくができない人なんてはじめてしりました。
- 障がいがあつても何でもできるということ。
- 1%のチャンスがあればどんなものでもちょうせんするが名言だと思った。
- 大学に行くことがむずかしい学校から、大学に合かくしたこと。
- べつに障がいを持った人だって人げんなんだから、障がい持ってたつてかんけいない。
- パラリンピックに出れる確率は0.001%だということ。
- 電動車いすでも、加藤さんは、3回も田んぼにおちたことがあつて、「1回目より2回目のほうがうまく転べた」というとき、私も「人はすごい」とききました。
- しょうがいがあるのに1人ぐらしをしてるのがしんぱい！！
- きょうぎでまけてしまったといっていたのでおうえんして優勝してほしい。
- 車いすで田んぼに落ちた(3回)。
- ゆめは必ず叶うと言ったところ。

- 加藤さんがロンドン五輪ピックに出場したって聞いていたことです。来月のポッチャ選手けんもがんばってください。そしてパラリンピックなどに出場してがんばってください。
- ロンドンオリンピックにでているから心にのこった。
- 1%の加のうせいがあれば、なんでもちょうせんする所です。私も、がんばりたいなと思いました。
- ゆめはかなうと聞いていたこと。
- 加藤さんは13年も一人ぐらしをしていたこと。
- 加藤さんはしょうがいのもっている人なのにポッチャをあきらめないでやりとげるところが心に残った。
- パラリンピックで、はやいうちにまけてしまったこと。
電車のゆうせん席で、男の人が席をゆずってくれなかった。
- 加藤さんは1%のかのうでいがあつたら、なんでもちょうせんしたことです。
- 自分がどんな立ち場にもチャレンジすることが大切だということ。
- あきらめたらそこで試合しゅうりょう。
「1%のかのうせい」
人であることにちがいはない。
- しょうがいを持っているのに持っていないようにどうどうとしていたところ。
- 一人ぐらしをしていること。
- 加藤さんが1%でもかのうせいがあるならあきらめずにがんばる、といったこと。
- かとうさんのお話ですと1人ぐらしをしていてすごいと思った。
- 加藤さんとやった後のお話。
- 自分で決めた事は、あきらめないと言っていたところ。
- 田んぼにおちたこと。
- 加藤さんのお話でちょうせんするゆうきをもらいました。
- しょうがいをもっている人が電車に入ってきて、ゆうせん席をかわってくれない人がいること。
一生けんめいお話をしてくれたこと。
- 世界でたかかったと聞いたことです。理由は、そんなすごい人だったのかと思ったからです。
- 障がい者くべつするのではなく、助けあつたりしてくらししていくというのが心にのこりました。
- 加藤さんがしょうがいがあつてもスポーツができるといったこと。
- 1%のかくりつがあるかぎりあきらめないこと。
- 1%でもチャンスがあるかぎりあきらめてはいけない。
- 加藤さんがオリンピックにでた所。
- 加藤さんがたんぼに三回もおちたこと。
- 田んぼに三回おちたことがおもしろい。
- 1%のかくりつでもあればちょうせんする！
- 日本だいひょうになったお話が心に残った。
- 「自分は負けてしまったけどまたリベンジする」という言葉が心に残りました。
- しょうがいを持っていても、あきらめなければできること。
- やっぱり加藤さんだけではないけど、電車に乗る時は、障がいの人やお年寄りを見つけたらそのばをどいたほうがあいてもうれしいということが心に残った。

- 加藤さんがコーチにかみをきられたお話が心に残りました。
- あきらめたら試合しゅうりょう。
- 1%のかくりつがあれば最後までやりきること。
- 電車で席をゆずってくれなかったことです。男の人が2人も加藤さんのことをにんしきせず席をゆずらなかつたこと。
- 何でもあきらめずにやればゆめはかなうという所が心にのこつた。
- 元パラリンピックでこんどせんしゆのやつがあるからがんばりたいといつていたこと。
- 障がいをもつた人でもたのしくできる。
- たくさんのパラリンピックに出て、ゆうしょうをたくさんしていること。ポッチャをやって18年になること。
- 加藤さんは、障がいをもつているのに、たくさんの努力をしていたこと。
- 加藤さんが家族などに反対されたのに、自分のゆめをもちつづけたことがすごい。
- 「1%のかのうせいを信じて・・・」の部分。
- 初めてロンドンパラリンピックで負けてしまつたこと。
- みんなちがつてみんないい。
- 田んぼにおちたこと。
- 田んぼにおちたこと。
- 自分のスタンプみたいなの。
- いろいろなところで楽しませようとわらわさせていたところ。
- 障がいの人でも1人ぐらいしできるということです！！
- パラリンピックで一回せんでほしいしたこと。
- しょうがいをもつていてもみんな人間ということは同じつてこと。
- 障がいをもつているのに、楽しそうですごいなと思つています。
- 夢にむかつてあきらめないという言葉をお大切にしていきたいです。
- 「1%の可のうせいがあるかぎりちようせんする」という言葉が心に残りました。
- 田に落ちたこと。
- 日本代表から落ちてしまつたこと。
- いろいろな思いでがあること。
- 加藤さんは1%の可能性があるかぎり何でもちようせんする所が心に残りました。
- しょうがいの人としょうがいのある人は変わらない。
- 加藤さんはいろいろ大会でゆうしょうしたのがすごいと思つた。
- 障がいがある人でも、ポッチャがとても上手なんだと思つました。
- 一人ぐらしをしている。
- 五年前にポッチャをやめたけれど、また、日本代表になる。
- 加藤さんが田んぼの中におちたこと。
- 加藤さんが日本代表でパラリンピックに出たこと。
- スラムダンクのコーチのあいことば。
- しょう害をもつていてもかんけいがないという言葉。

6. 5で「はい」と答えた人に質問します。障がいのある人に対してどのような気持ちを持つようになりましたか？(いくつ選んでも OK です)

【「その他」の回答内容】

- しょうがい者の人にやさしくしたい
- 気持ちをおちつかせたい
- せきをゆずる
- 障害がある人でもスポーツや色々なことができる
- しょうがいがあっても仲間はずれにしない
- やさしくせつする

8. 7で「参加したくない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか？

(※「参加したくない」と答えた人が0名のため、回答なし)

自由に感想を書いてね

- ボッチャは世界のきょうぎなのに、しょうじきしょうがい者の方がでていいのかおどろいたけど 1%のかのうせいがあったからこそ選手になれたんだと思います。
- たのしかったから、また加藤さんがきたらいつしよにボッチャしたい。
- ボッチャのやり方などを知れて楽しかった。
- 私も 1パーセントのかくりつを信じて、ゆめを協えていきたいです。
- ボッチャ体験教室ではいろいろなこと学んでとても楽しかったです。
- いそがしいなか来てくれてありがとうございます。
- ボッチャがCMでやっていたのを見て、私もやってみたいと思っていました。ボッチャは、とても楽しい競技だからまたやってみたいです。
- 加藤さんとのボッチャ対戦が一番楽しかったので、またやりたいです。
- とても楽しくてボッチャがわかったのでとてもうれしくていいおもいでになりました。
- 障がいのある人でもあんなにえがおで、お話ができて、とてもあかるい人だなと思いました。
- わたしは、ボッチャというスポーツがあることを初めて知りました！！
- 楽しかった。
- 障がいがあってもほかの人とくらべては、いけないことをよくかんがえた。
- ボッチャは上手にできなかったけど楽しいきちょうな体験に参加できてよかったです。
- 加とうさんをおうえんしています。
- ぼくは一番楽しかったことは、加藤さんとのボッチャ対戦です。バトルを見たりしてもすごかったです。ボールをたったの二回投げただけで勝ったからです。まさに日本の代表だとおもいました。
- ボッチャ体験で加藤さんがなげたのが全部白にあたっていたのがすごいと思いました。
- 加藤さんのお話がおもしろかったです。
- ボッチャ体験をして障がいのある人に声をかけたり助けたいなと思いました。

- さいごに加藤さんとボッチャ対戦したのが楽しかったです。
- ボッチャを知る前は「ボッチャってなんだろう。」って思っていました。でも、ボッチャをやってみたらけっこうむずかしいんだなって思いました。
- ボッチャは楽しいきょうぎだなと思いました。
- またボッチャに体験して、かとうさんとたいせんしてみたいです。
- 加藤さんとI(アイ)チームの対戦が見ていておもしろかったです。
- しょうがいがあってもかとうさんはどんなことでもちょうせんするからすごいと思った。
- 重度の障がいがあってもできるスポーツなので、みんなで楽しくできました。
- ちょっとむずかしかったけどおいしいところにボールがいったらうれしさがあって楽しかった。
- ボッチャは障がいのある人でも、できるスポーツで、かんたんに行ける、スポーツで楽しかったです。
- ボッチャの体験が出来てすごく楽しかったです。勝負にも勝てたのもあるけど、かとうさんの話がおもしろかったです。
- 楽しくまなべてよかったです。いろんなしょうがいのある人でもできる。また、たのしくやりたいし、とゆうのがすごいと思いました。
- ボッチャは楽しかったのでまたやりたいです。
- すごく楽しかったので、またボッチャに参加したいです。
- 障がいのある人のスポーツは楽しいと思った。
- しょうがいがあってもボッチャをやめず世界一になってください。さいしょはルールが分からなくて、かとうさんが手本をみせてくれたので分かるようになった。
- 加前さんみんなにおしえてもうてありがとうございました。
- 加藤さんのお話が聞けて、よかったです。障がいのある人を助けたいなど、思いました。
- きちょうな体験ができてとてもたのしかったです。
- 他に固まっている人がいたら自分から助けてあげたい。
- ボッチャがたのしかった。
- 加藤さんがいっていた「あきらめない」という言葉はほんとうに大切だと思いました。
- まけたのはくやしかったけれど、またボッチャをやりたいです。加藤さんが、せいかくにたまをころがせたのがすごいと思いました。
- ボッチャは、いろんな人ができて、いろんな人が楽しめてよいスポーツだと思いました。
- ボッチャは、しょうがいの人と、ふつうの人が楽しく遊べる・戦えるものだとよく分かりました。
- 加藤さんとのボッチャ対戦では小学生 10 人と 2 人(1 人)でバトルをしていて、やっぱりあきらめないことが大切だと分かりました。
- しょうがいをもっていても決して差別やいじめをしてはいけないと分かりました。
- 加藤さんとのボッチャ対戦で加藤さんに負けてくやしかったです。
- ボッチャはしょうがいがある人でもできるスポーツだとした。
- ボッチャの体けんでこうゆうすぽうつなんだなと思いました。
- 初めてやって、ボッチャは楽しいドキドキするものなんだと思いました。
- ボッチャは楽しいきょうぎだと思いました。加藤さんとボッチャをして加藤さんがつよいと言うことも分かりました。またボッチャ体験をしたいと思いました。
- さいしょはルールはよくわからなかったけど、やったらわかった??

- 加藤さんとまたポッチャをしたいです。
- CM でポッチャを見てやってみたいなと思いました。体験してみるとボールを転がしているだけのもつてもかんたんなスポーツでした。白いボールに自分のチームのボールが近づくと、とてもうれしくなりました。
- ポッチャという競ぎには、体の不自由な人にとっての大切なきょうぎだと知りました。
- ポッチャ、うまく投げれてよかった。
- ポッチャ体験でAチームのたいせんしたとき、おもうようにコントロールができなかったけど楽しかったです。
- さいごに時間がきてしまって加藤さんとたいせんできなかつたけれど、さいしょのたいけつでかててよかった。
- ポッチャの体験や加とうさんの話をまた聞きたい。
- これから1ばーせんともチャンスがあるかぎりあきらめないで生きていきたいです。
- 加藤さんまたポッチャをおしえてください。
- ポッチャはやってみるとたのしくて、もりあがるスポーツで思っていたよりすごく楽しかった。
- 体験がたのしかつたです。
加とうさんとたいけつしてみたかつたです。
- 家で、しんぶんして、ポッチャの玉を使って、妹と遊びました。いつやっても楽しかつたです。
- ポッチャ体験は、負けちゃつたけれど、ポッチャをやることは、とても楽しかつたです。次は勝ちたいです。
- 最初はポッチャというものが分からなかつたけどやってみたら楽しかつたのでまたポッチャをやりたいです。
- ポッチャは、しょうがいをもつていても、楽しくできるスポーツだなと思ひました。ポッチャとにたようなスポーツもやつたことがあつたので、やりやすかつたです。
- わたしのおばあちゃんのしょくばでは、大人だけど心がまだ子どもという障がいをもつた人がたくさんいます。だからわたしは今まで、そういう子しかいないのかなと思ひていました。けど加藤さんのことを知つてこんなにすごい人もいるんだとかんしんしました。
- ポッチャ体験たのしかつたのでまたやりたいです。
- はじめてポッチャとゆうスポーツを知りました。はじめてポッチャを体けんしたら、楽しかつたです。
- くやしかつたからやめるじゃなくてゆめにたどりつくまでやるというのがすごいと思ひました。
- 加藤さんのポッチャは、本当にすごいと思ひました。また日本代表になつて、オリンピックに出てください。おうえんしています。
- ポッチャはとてもたのしくむずかしいけど障害者の人への気もちが変りました。
- ポッチャは、とてもたのしくてとても白熱しておもしろかつたです。
- チームと協力してやるのがとてもたのしかつたです。
- ポッチャ体験で、まけちゃつたけど、とても楽しかつたです。加藤さん、来年のパラリンピックもゆうしように、がんばってください。
- ポッチャは、最初むずかしいと思ひていましたけど、やってみれば、楽しく、かんたんでした。
- ポッチャ体験は、思つたよりもむずかしかつたです。
- わたしは1番心にのこつているのは、加藤さんとのポッチャです。ぴったりとめて、すごいと思ひまし

た。パラリンピックもがんばってください。

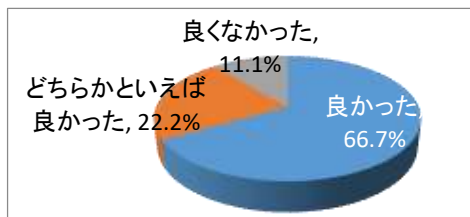
- しょうがいがある人でも、あんなに楽しめるスポーツがあるなんて知りませんでした。
- ぼくはボッチャ体験教室で、障がいのある人は、とてもくろうをしていることが分かりました。これから障がいのある人が困っていたら助けたりしたいです。
- 障がいがあっても、とくごかしゆみで活やくする場面があると分かりました。
- ボッチャは、しょうがいの人のためのきょうぎなのでしょうがいしゃには、とてもいいきょうぎだと思いました。
- 田んぼにおちていた人がいたら助ける。
- ボッチャ体楽しかったです。
- このボッチャ体験教室に参加してしょうがいの人の気持ちや1%のかのうせいをしんじていろんなことにちょうせんしようと思いました。
- 加藤さんとたいせんできてよかったです。楽しかったです。またやりたいです。
- テレビでボッチャを見てもやり方がわからなかったけど、じっせいにやってみたらどういふスポーツなのかわかりました。
- 「ボッチャ」というきょうぎは楽しいと思いました。(しょうがいの人でもできるから)
- かとうさんが、ボッチャでたいせんして、かとうさんが、さいごに、強くなつて、すごいなと思いました。
- ボッチャは、重度障がいの人でもできるので、すごいと思いました。
- ボッチャでは、障がいしゃの人がゆうりだと思いました。
- ボッチャを体験して、ボッチャにきょうみをもちました。
- ボッチャに思ったよりむずかしくて、またちょうせんしてみたいと思いました。
- 分りやすく教えてくれてみんなで楽しくできてよかったです。
- 日本代表で、すごいんだなーと思いました。
- いろいろなお話をきいてたのしかったです。
- 加藤さんは、ボールの配置をよく見て、作戦をねっている所がすごいと思いました。
- ボッチャのやり方を教えてくれてありがとうございました。
- 最初はしょうずにできなかったけどあとからけっこうまよくできた。
- ボッチャは上手にできなかったけど楽しかったです。
- ボッチャをやってみると、さいしょはかんたんだと思っていました。だけど、やるとむずかしく、集中しないと出来なかったです。
- ボッチャはCMでやっていたから「かんたん」だと思っていたけど、球はおもいからなげにくく、むずかしいことが分かりました。
- ハンドボールぐらいのボールだと思っていたら、もっと小さくてすごく重く長い時間ころがった。
- とてもお話でゆきずけられました。ありがとう。

【東海市立加木屋小学校】ボッチャ体験教室アンケート結果(教員用)元.11.21
 [回答者数:9名]

1. ボッチャ体験教室の内容は、いかがでしたか。

【加藤氏の講話】

良かった	6名	66.7%
どちらかといえば良かった	2名	22.2%
良くなかった	1名	11.1%



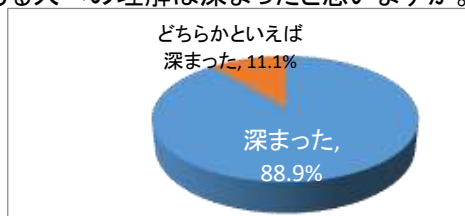
【ボッチャ体験】

良かった	9名	100.0%
どちらかといえば良かった	0名	0.0%
良くなかった	0名	0.0%



2. ボッチャ体験教室を通じて、参加した児童の障がいのある人への理解は深まったと思いますか。

深まった	8名	88.9%
どちらかといえば深まった	1名	11.1%
深まらなかった	0名	0.0%



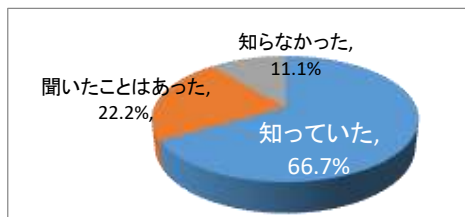
3. ボッチャ体験教室を通じて、教員の方は、障がいのある人への理解は深まりましたか。

深まった	9名	100.0%
どちらかといえば深まった	0名	0.0%
深まらなかった	0名	0.0%



4. 人権擁護委員の存在を知っていましたか。

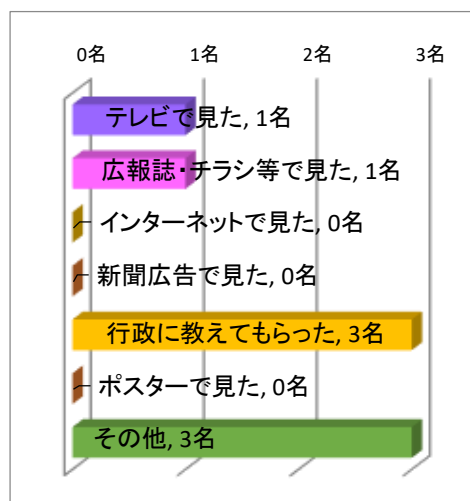
知っていた	6名	66.7%
聞いたことはあった	2名	22.2%
知らなかった	1名	11.1%



5. 4で「知っていた」と回答した方にお尋ねします。どのようにして知りましたか。

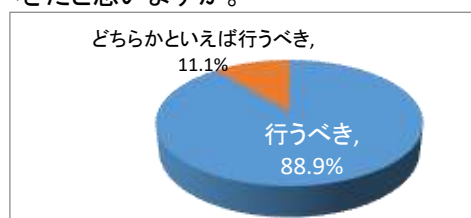
(複数回答可)

テレビで見た	1名	12.5%
広報誌・チラシ等で見た	1名	12.5%
インターネットで見た	0名	0%
新聞広告で見た	0名	0%
行政に教えてもらった	3名	37.5%
ポスターで見た	0名	0%
その他	3名	37.5%



6. 今後もポッチャ体験教室のような人権啓発活動を行うべきだと思いますか。

行うべき	8名	88.9%
どちらかといえば行うべき	1名	11.1%
行わなくてよい	0名	0.0%



※以下、回答内容は原文のままです。

(教員用)

1. ボッチャ体験教室の内容は、いかがでしたか。

【加藤氏の講話】

良かった:理由

- 実体験にもとづいて、普段は聞くことのできない、非日常のお話を聞くことができたから。
- 良かったのですが(大人受けはよいと思いますが)、子どもにはどう反応していいのかわからないところ、難しい(人生の話)と思いました。

良くなかった:理由

- 内容の表現方法(スクリーンの漢字・文字)長さ。
ご本人の存在自体が大きなインパクトがあり、子どももよく聞いていて印象に残った。あえて良くなかったとしたのは、内容と言葉を小学生向けに修正していただきたいから。

【ボッチャ体験】

良かった:理由

- 全員が体験でき、すべての人が参加できる競技ということが分かったから。

2. ボッチャ体験教室を通じて、参加した児童の障がいのある人への理解は深まったと思いますか。

深まった:理由

- 講話や体験を通して、障がいのある方の生活についてや考えにふれることができたから。

3. ボッチャ体験教室を通じて、教員の方は、障がいのある人への理解は深まりましたか。

深まった:理由

- 教員にとっても加藤先生の話は貴重で、障がいのある方や福祉についての知識の幅がまじったと感じたから。

5. 4で「知っていた」と回答した方にお尋ねします。どのようにして知りましたか。

【「その他」の回答内容】

- 学校としてのつながりで
- 学校で聞いていた
- 学校での毎年の人権教室などを通じて

7. 今回のボッチャ体験教室についての感想や改善点、児童にさせたい障害者スポーツについてなど、ご意見をご自由にお書きください。

- ボッチャの体験はよかったと思います。(大会の様子映像があるとよかったかも)
- 加藤さんのお話はとてもよかったが、内容的にも時間的にも4年生の児童にはあっていないと感じ

た。

- 楽しい体験教室で、子どもたちもパラリンピックに向けて興味がわき、加藤先生のすごさも感じることができました。ポッチャの楽しさも感じることができ、ありがとうございました。
- 現在特別支援級の担任をしていますが、肢体不自由の子も協調運動が苦手な子もそれぞれに応じて楽しく参加しており、学校でも取り入れたいなと思いました。
- 児童および教員の声から、非常に印象的で楽しい体験であったことがわかります。加藤さんの思いやりメッセージはしっかり届いています。加藤さんの存在自体の力が大きいので大きな価値がありますが、講演の内容と長さが改善されるとさらに良いと思いました。